

文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」採択事業
「産学公連携によるグローバル人材の育成と地域資格制度の開発」



京都産業大学FD研究会
「PBL科目で学生はここまで伸びる！」

日時：2013年8月2日（金）15：30～17：00

取り組み紹介と参加者とのディスカッションを交えながら、対話形式でプログラムを進行します。

会場：龍谷大学深草学舎 22号館 4階会議室

法政大学地域研究センター
特任教授

宮木 いっぺい



東京都文京区出身。慶応義塾大学経済学部、同大学院経済学研究科修士課程、博士課程を経て、2004年に法政大学地域研究センター専担助教授に就任。2013年現在、同センター特任教授。専門分野は企業論・非営利組織論・公共経営論・地域活性論。主な研究業績（論文・著作）は、『いちから見直す公共的事業』共著（2007年）、「コンサルティングと課題解決教育」、「PBL研究会報告書」（2009年）等。

2005年より同センター開講科目『社会貢献・課題解決教育—コンサルティングによる課題解決—企業と話して企画を提案する授業』を実施。グループワークからプレゼンテーション、成果報告会までの一年間の授業を通して、社会で必要とされる課題解決能力、コミュニケーションとチームマネジメント能力、プレゼンテーション能力を学生が身につけるPBL科目となっている。

一方、1995年よりNPO法人GNC Japan代表理事を務めるほか、各種委員（日本商工会議所、全国信用金庫協会 他）、公益事業学会『公益事業研究』編集委員等を歴任している。

法政大学地域研究センター
客員研究員

佐藤 充



千葉県佐倉市出身。現在、法政大学大学院政策科学研究科博士後期課程に在籍。大学院に在学するほか、自治体シンクタンクや大学付属研究所の研究員を務め、地域活性化に向けた調査研究活動に従事。

専門分野は、地域経済論、産業集積論。2007年度より、同センター開講科目『社会貢献・課題解決教育—コンサルティングによる課題解決—企業と話して企画を提案する授業』に、TAとして参加。専門社会調査士。